山崎池ハザードマップ（歩行困難度）

地図の見方

このハザードマップは、大地震等により、ため池が決壊し、全ての貯留水が瞬時に流出する状況を想定しています。

実際の浸水区域は、ため池の貯水量、堤体の被害の程度、周辺の土地利用状況等により異なる可能性があります。

浸水区域に入っていない住人の方もいざというときに落ち着いて行動できるよう、日頃から災害の対応について、ご家族や近所等で話し合い、避難所や避難経路等の確認をしておきましょう。

避難経路や指定避難所が浸水しているときには、浸水区域内の指定避難所には避難しないようにしてください。

安全が確保できたならば防災計画にもとづき避難してください。

地図を見る上での注意事項

このシミュレーションは、平均化した地盤高で行っているため小水路など局地的な地形を反映できていないこともあります。

河川氾濫など、その他の災害は考慮していません。

想定を超える事態や不測の事態が起こった場合、浸水想定区域外においても浸水被害が発生する可能性があります。

藤岡市総合学習センター

藤岡第1小学校

みかぼみらい館

東中学校

ひょうたん池

たるま池

決壊後1分

決壊後2分

決壊後3分

決壊後4分

決壊後5分

決壊後6分

決壊後7分

決壊後8分

決壊後9分

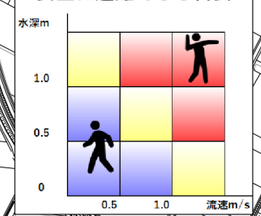
決壊後10分

0 100 200 300 400 500 m

歩行困難度　凡例

- 可能
- 困難
- 不可能

安全に避難できる目安



ため池決壊による『浸水の深さ』と『流れる速さ』の関係から、歩行困難となる区域を表現しています。

ため池決壊によって、水のかたまりが勢いを持って押し寄せることを覚えておいてください。

自宅に留まることも選択肢の一つ
浸水の中避難することはとても危険です。
浸水が始まる前に避難することが基本ですが、浸水がすでに始まっている場合は、自宅に留まり、2階等へ避難することも選択肢の一つです。

凡　例

- 指定避難所
- 市町村界
- 到達時間
- ため池・河川・水路
- 緊急輸送道路